



七里小だより

6月号

さいたま市立七里小学校
令和8年5月29日

『やさしさ と 思いやり を大切に』

さいたま市立七里小学校
校長 舘 和 成

校庭に吹く風にも初夏の暑さが感じられ、明るい日差しの中で子どもたちが元気に過ごす季節となりました。

5月27日から6月30日は、本校の「いじめ撲滅強化月間」です。本校では毎年この時期に、「いじめをしない」ということを改めて確認するとともに、子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるよう、さまざまな取組を行っています。

今年度もその一つとして、5月27日のお話朝会で、絵本の読み聞かせを行いました。宮西達也さんの「やさしさとおもいやり」（ティラノサウルスシリーズ）です。子どもたちには、「やさしさとは何だろう」と考えながらお話を聞いてもらいました。

読み聞かせの後には、特に「言葉」の大切さについて話しました。例えば、友達が失敗してしまったときに、「バカだな、お前、こうすればいいんだよ」と言うのと、「大丈夫だよ、こうするといいよ」と言うのでは、同じことを伝えていても、相手が受ける気持ちは大きく異なります。何気ない一言が相手を悲しい気持ちにになってしまうこともあれば、やさしい言葉が相手を安心させることもあります。子どもたちには、相手の気持ちを考えて、やさしい言葉と行動で過ごしてほしいと伝えました。

また、本校では今年度から、月に2回ほどのペースで、朝の時間に「読書タイム」を設定し、落ち着いて本に向き合う時間を大切にしています。本は、さまざまな登場人物の気持ちに触れたり、自分とは異なる考え方に会ったりすることができる、大変貴重な機会です。読書を通して、子どもたちの豊かな心や思いやりの気持ちがさらに育まれることを願っています。

七里小学校の子どもたちは、御家庭や地域で育まれてきた「やさしさ」をたくさんもっています。下級生の面倒をよく見ている姿や、困っている友達に声をかける姿、クラスの仲間と明るく仲よく過ごす姿など、日々の学校生活の中で、温かな関わりが多く見られます。これは、本校の大きなよさであり、子どもたちの素晴らしい力です。

こうしたよさをさらに大切にしながら、学校全体で「やさしさ」と「思いやり」にあふれた学校づくりを進めてまいります。御家庭におきましても、日々の会話の中で「どんな言葉が嬉しいか」「どのような言い方で伝えるとよいか」など、子どもたちと一緒に考えていただければ幸いです。

保護者の皆様におかれましては、引き続き、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

6月も本校教育活動への保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御協力、温かい御支援をどうぞよろしくお願いいたします。